2021年度通常公募 団体情報シート								
団体名	えひめグローバルネットワーク		EII/Atwoh	https://www.egn.or.jp				
申請事業名			中數學付書号	21227				
主題	ユース版ソーシャルイノベーター育成事業			①草の根活動支援事業				
	社会課題に立ち向かうソーシャルイノベーターの育成拠点整備			①-2 地域ブロック				
副屋				四国ブロック(徳島、香川、愛媛、高知)				
優先すべき社会の諸課題選択科目								
領域①	1)子ども及び若者の支援に係る活動	領域②	未記入					
分野①		分野②						
③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援		未配入						
-		-	-					
-	-							
領域③	3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	領域④	-					
分野③		分野④						
⑥ 地域の働く場づくりや地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援		-						

中語事業概要 東中南予の3圏城毎に実行団体は若手アクセラレーター人材を雇用、地域のNPO(苦しくは公益団体等)と連携し、高専生・高校生の地域貢献への希望聴取や地域課題の抽出、産学民官キーパーソンへの協力要請などを実施し、地域ビジネス割出(例えば水産物の高度活用)や地域課題解決プロジェクトの実施(例えばDXの活用による地域サービスの向上)に関する側面支援を行う。 また、高等教育機関や企業等と連携し、SDGsやカーボンニュートラル、DXなどの最新動向に関する講義や、合意形成に関する技術の習得など、次世代人材が生きていくための知恵をつける場を創出する。有望企画案を作成した生徒に対しては、ソーシャルイノベーターとしての素質を生かせる地域の進学先・就職先に関する情報提供や、事業助成制度、就職後のリカレント教育プログラム等についての紹介を行う。

		団体組織情報				
	●設立・法人取得年月日					
1	設立年月日	1998年4月4日				
	法人格取得年月日	2005年10月6日				
2	□体概要 □体概要	国際協力、環境保全、社会教育を統合的に実施できる四国随一の中間支援型特定非常利活動法人であり、外務省NGO相談員や環境名四国環境バートナーシップオフィス(EPO)事業の実施においては高い評価を得ている。また、企業や学校に対して、ESOやSOGを基本とした、人権・環境・ジェンダー等をテーマとした講演活動(109回、4,100人(2020))に取り組むほか、数対開発や専門家派遣(ESOコーディネーター)、平和の語り部など、次世代人材育成への貢献において高いポテンシャルを有している。				
	●代表者情報					
	代表者名	竹内 よし子				
3	代表者の役職	代表理事				
	代表者名 2	該当なし 該当なし				
	代表者の役職 2	該当なし				
	●役員					
4	役員の人数	7人				
+	(その内)監事/監査役・会計参与の人数	1人				
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	0A				
	●事務局職員					
	職員・従業員合計	15人				
	以下、職員・従業員の内訳					
	常動・有給・有期	6人				
5	常動・有給・無期	0Д				
	常動·無給(有期·無期)	0Д				
	非常勤・有給・有期	9人				
	非常勤・有給・無期	0Д				
	非常動・無給(有期・無期)	0A				
6	●資金管理体制					
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	はい				
	●区分経理・帳簿					
7	1.必要な会計帳簿が備えられている	はい				
	2.業務別に区分経理ができる体制である	はい				
8	●監査					
	年間決算の監査を行っているか	①監事で実施				

	助成実績					
1	前年度の助成件数 (件)	該当なし				
2	前年度の助成総額(円)	未記入				
	助成事業の実績内容					
	①顕微費用が高いアフリカモザンピークへの浸熱を希望するユース世代への浸剤助成として、これまで大学生4名(1人あたり10万円)へ放費支援を行い、若者人材育成を行った。その結果、エッセイコンテストでの入棄や現地大学への留学へつながった。 ②個国環境バートナーシップオフィス受託事業を通して、地域循環共生圏に資する団体との連携構築に対し各25万円の事業委託を行い、四国内のNPOとの協働による地域循環共生圏構築に向けたネットワーク形成の基盤づくりを進めた。 ③その後、地域循環共生圏の推進を担うプラットフォームローカルSDGs四国(LS四国)を立ち上げ、地元企業や金融機関を中心とする多様な主体が参画するプラットフォーム事務局として事業を推進している。 ④酒日本素再災害で被災した愛媛県南予地域における緊急支援と復興支援のプロセスの中で、愛媛県域の中間支援組織NPO法人えひめリソースセンターとともに、支援を行った。その中で、うわじまグランマやイス、FMラジオパーソナリティーなど、現場の活動団体やキーマンに対して、事業協働等を通じて、資金的支援を行った。その結果、うわじまグランマから宇和島NPOセンターの設立やイフのプレイパーク活動の事業化、中間支援との連携など、地域課題の解決において基盤となる持続的な事業へ発展した。 ⑤昨年度の店場の不採択とをの投援事項を受けて、複数の分配団体へのアプローチとヒアリング相談を行い、四国地域枠での分配団体の採択に向けたコンソーシアム設立に向けた協力依頼を行うとともに、四国内での展開を目指した連携を図るよう引き続き情報や意見交換を継続する予定である。					

誓約確認等		
欠格事由に関する誓約	誓約	チェックあり
業務に関する確認	業務1.1の確認	チェックあり
	業務1.2の確認	チェックあり
	業務2の確認	チェックあり
	業務3	該当なし
	業務3の確認	チェックあり
個人情報保護に関する基本方針の同意	同意	チェックあり